

明倫短期大学 歯科技工士学科 卒業後3年次動向調査 結果報告 (2024年度実施:抜粋版)

1.調査の概要

【調査目的】

卒業後3年経過した現在の勤務状況、及び社会人としての立場で在学時の教育課程等を振り返り、大学教育の成果がどのように役立っていたかを知るために意見を求める必要がある。この調査を元に改善の方向性を検討する上で、客観的な評価指標の一つとして用いられることが期待される。

【調査対象】

2020年度卒業生 歯科技工士学科 16名

【調査方法】

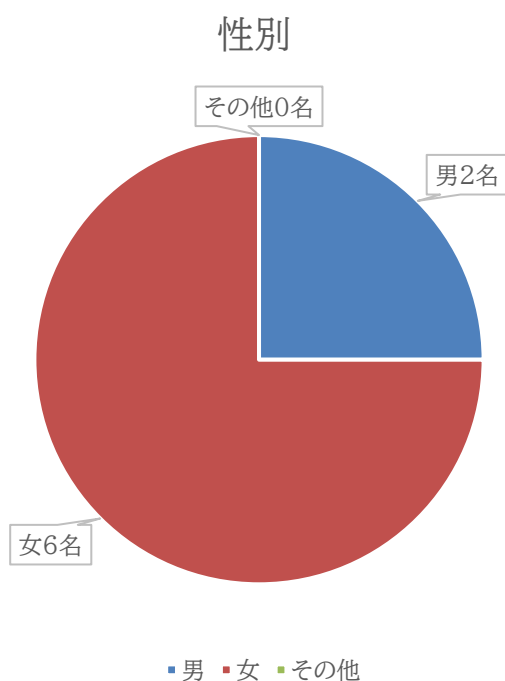
アンケートの調査依頼を郵送やSNSで配信をし、オンライン入力フォームで回答をお願いした。

【実施時期】

2024年8月8日～8月31日

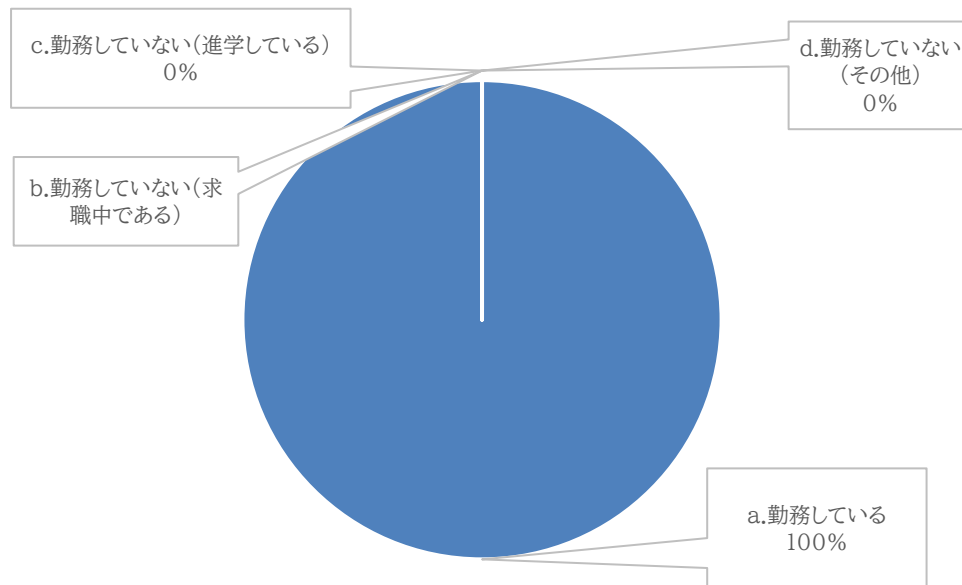
【回答者】

8名(回答率50%)



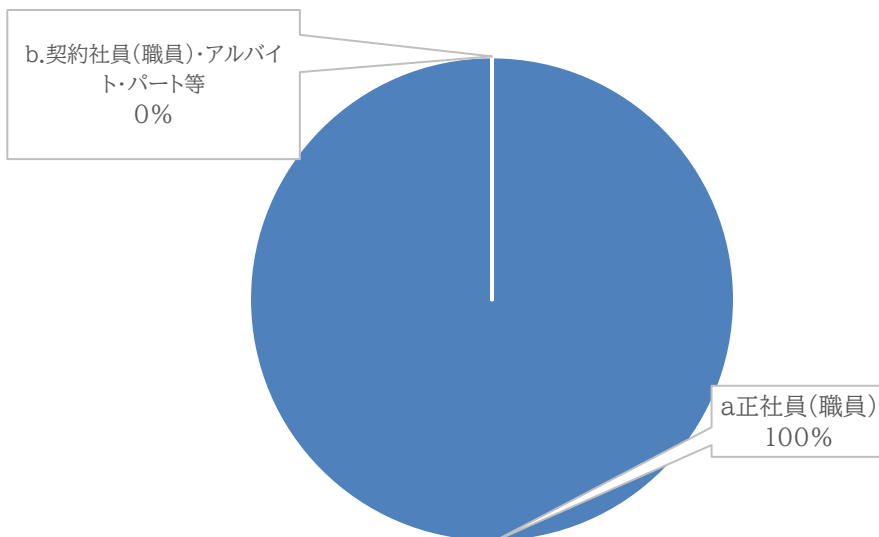
2.調査結果の要約

【現在の勤務状況】(n=8)



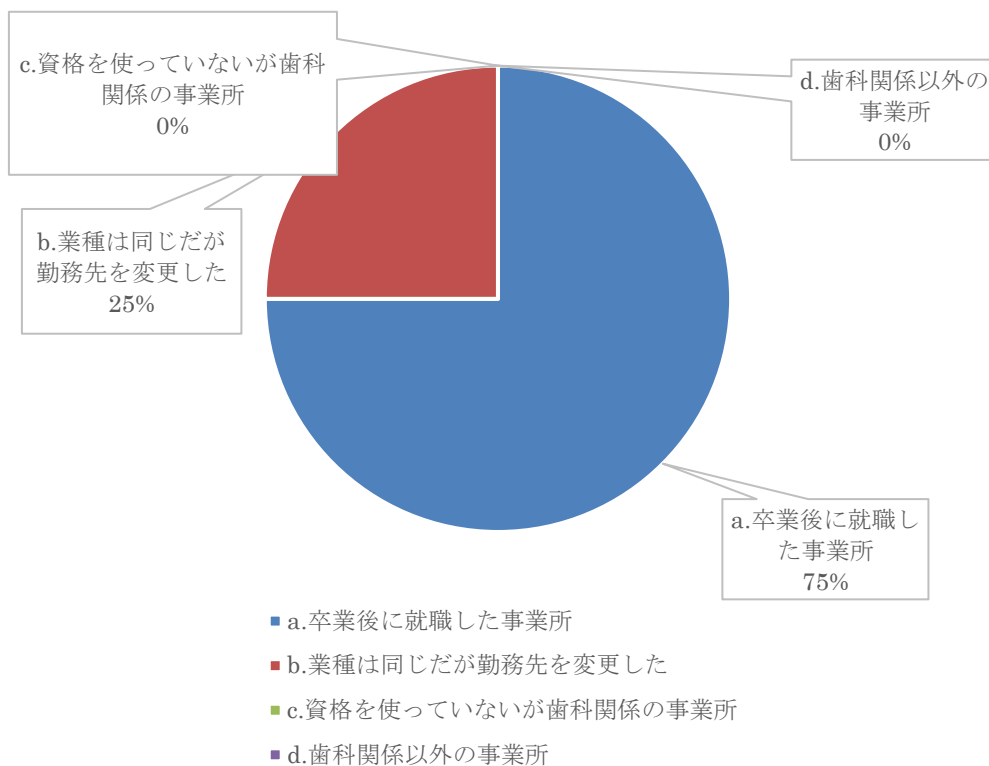
- a.勤務している
- b.勤務していない(求職中である)
- c.勤務していない(進学している)
- d.勤務していない(その他)

【現在の雇用形態】(n=8)

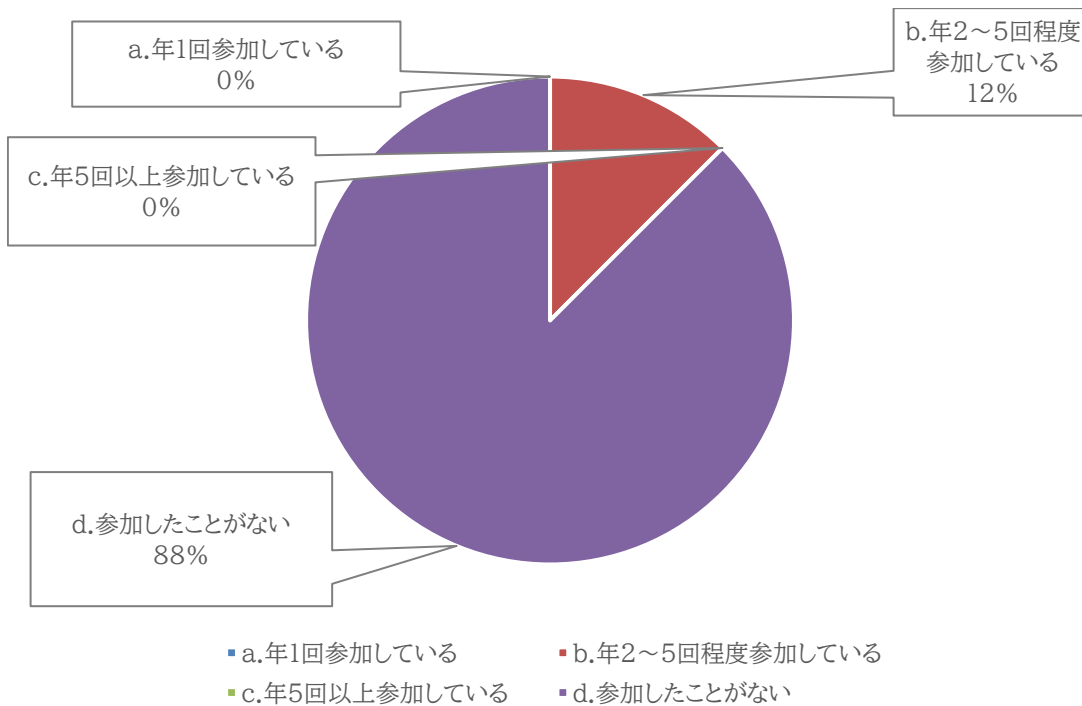


- a正社員(職員)
- b.契約社員(職員)・アルバイト・パート等

【勤務先の変更状況】(n=8)



【研修会等の参加状況】(n=8)



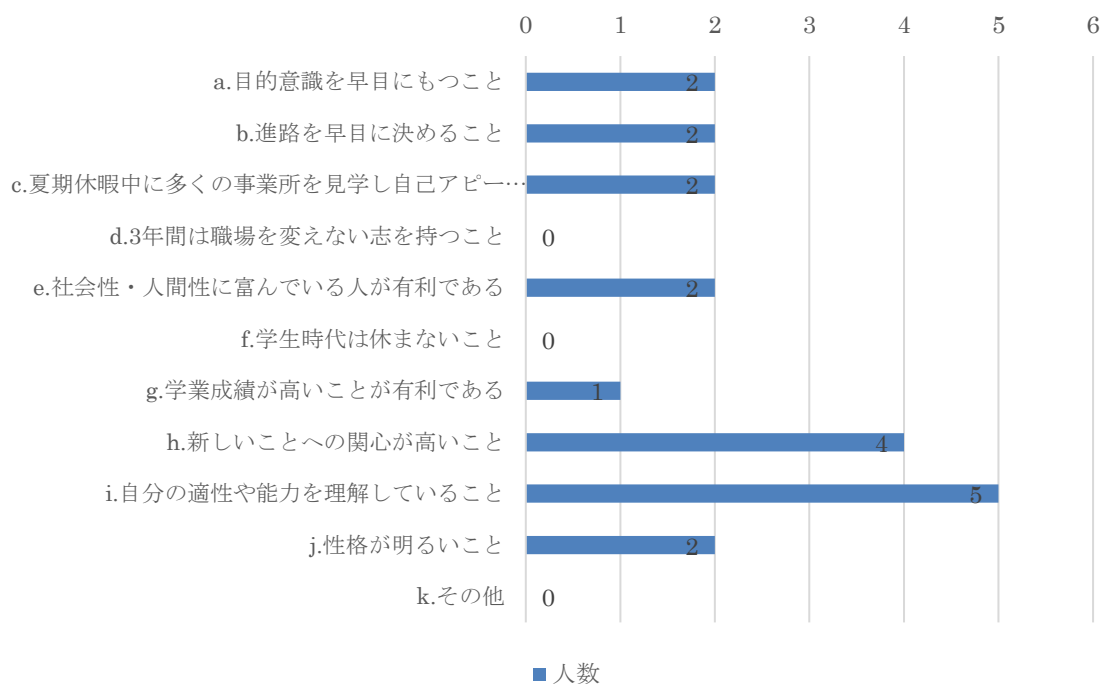
【高校生に明倫短期大学の進学を勧めたい理由】

- ・国家資格や歯科技工士になる目標が最初から決まっているため、進路がブレない。気軽に相談できる先生方、先輩方が沢山いる。
- ・人数は少ないが学生に寄り添ったよい学校だとおもう。

【明倫短期大学における教育課程での学びにおいて、改善が必要なこと】

- ・改善と言うより提案なのですが、併設している歯科医院への臨床見学をもう少し積極的にできますでしょうか？私が在学中は有志数名が30分ほどの見学を何回かさせてもらうことができました。臨床見学をさせてもらったおかげで院内でどんなことをしているかのイメージがつきやすく、制作した技工物の意図や今後の流れなどがわかった状態で作業することが出来ました。なかなか難しいとは思いますが考えていただけると幸いです。
- ・本科卒はしようがないが専攻科卒なのにやったことがないが多すぎる。就職時に本科卒と何も変わらないのでもう少し臨床の経験値をつけたほうがよいかと。

【明倫短期大学の後輩へ伝えたいこと】(複数回答項目)



3.調査の概評

回答者全員が現在も歯科技工士として勤務しており、また、その内 75%が卒業時と同じ就業場所にて勤務していた。短大卒業者の 3 年以内での離職率は 41.6%(令和 2 年 3 月卒)であり、全国の平均数値よりも低い結果であった。

卒業生から出された意見で本学に併設されている附属歯科診療所への臨床見学が就職後の業務に大変役立ったとあり、今後も積極的に機会を設け教育施設としての附属歯科診療所の価値を高めていきたい。

また、専攻科での臨床経験の少なさを指摘した意見もあり、今後は専攻科へ進学する優位性や価値をより高めるためにもカリキュラム内容の精査が必要である。

以上